

## 令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート

## 目 次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	2
②	災害に強い森林づくり推進事業	
ア.	災害緩衝林整備事業	3
イ.	土砂・流木緊急除去事業	4
③	森林情報基盤整備事業	5
④	森を育む人づくり推進事業	
ア.	森を育む人づくりサポート体制整備事業	6
イ.	森林環境教育・木育拠点整備事業	7
ウ.	森林とふれあう自然公園環境整備事業	8
⑤	生物多様性推進事業	9
⑥	みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業	10
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	
ア.	流域防災機能強化対策事業	11
イ.	森林再生力強化対策事業	12
⑧	みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	
ア.	災害からライフラインを守る事前伐採事業【新規】	13
⑨	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	14
⑩	みえ森と緑の県民税制度運営事業	15

令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート①

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	令和 2 年 8 月 1 日	
	中間	令和 2 年 12 月 31 日	
	実績	令和 年 月 日	

## 【事業概要】

事業実施年度	令和 2 年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成 25 年度
事業名	みえ森と緑の県民税基金積立金事業					
基本方針区分	-					
基本方針区分	-					
対策区分	-					
予算額等	年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	予算額(円)	1,090,828,000	1,097,538,000			
	決算額(円)	1,114,861,903				
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する施策に要する経費の財源に充てるため、みえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。					
事業の目標	-					
事業概要	令和 2 年度のみえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
積立てた基金を財源として各種事業を実施し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進しています。

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

担当部課名 作成年月日	農林水産部治山林道課				
	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日	実績
	年	月	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業					
細事業名	災害緩衝林整備事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	348,383,000	319,993,000			
	決算額(円)	347,059,492				
事業の目的	流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある渓流沿いの森林等において、流木や土砂の流出に対して緩衝効果を発揮する森林の整備を行います。また、それらの事業投入による効果を明らかにするために、科学的な視点での研究・調査を実施します。					
事業の目標	実施箇所数： 30箇所					
事業概要	<p>流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある渓流沿いの森林において、流木や土砂の流出に対して緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。</p> <p>1 事業実施</p> <p>(1) 渓流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採</p> <p>(2) 渓流沿いの立木における調整伐</p> <p>(3) 伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出</p> <p>2 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究）</p>					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
1 実施箇所について、令和2年12月末現在で28箇所を契約し、そのうち6箇所が完成しました。また、残り24箇所も完成に向けて整備を進めています。
2 事業の効果検証について、事業実施による山腹斜面安定効果、立木の成長促進効果、倒流木発生抑制効果を検証するため、調査を継続して実施しています。
3 事業のPRについて、三重県立図書館や各県庁舎及び市町庁舎において、事業の取組内容をより多くの県民の皆様に知っていただき、事業の必要性への理解を深めるため、現場状況等の展示を実施しています。

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量 実施箇所数（箇所）		

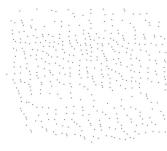
## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。
-------	---------------

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート②-イ



担当部課名	農林水産部治山林道課				
作成年月日	当初	令和2年8月1日			
	中間	令和2年12月31日			
	実績	令和年月日			

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業					
細事業名	土砂・流木緊急除去事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	59,997,000	60,007,000			
	決算額(円)	57,835,503				
事業の目的	荒廃した溪流内や治山施設において、台風や集中豪雨によって流出し下流の人家等に被害を与える恐れのある異常に堆積した流木や土砂等の除去を行います。					
事業の目標	実施箇所数 4箇所  渓流内や治山施設に異常に堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1) 溪流内や治山施設等に異常に堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2) 必要に応じて簡易施設、土砂場等の設置					
事業概要						

【中間進捗】

中間進捗状況		
1 実施箇所について、令和2年12月末現在で4箇所を契約し、そのうち1箇所が完成しました。また、残り3箇所も完成に向けて整備を進めています。		
2 事業のPRについて、三重県立図書館や各県庁舎及び市町庁舎において、事業の取組内容をより多くの県民の皆様に知っていただき、事業の必要性への理解を深めるため、現場状況等の展示を実施しています。		

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量 実施箇所数(箇所)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。
-------	--------------

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課			
作成年月日	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日
	新規・継続		実績	令和年月日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	森林情報基盤整備事業					
細事業名	-					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	77,757,000	90,243,000			
	決算額(円)	74,063,270				
事業の目的	<p>航空レーザ測量を実施して、詳細な森林資源情報を把握することで、効率的な森林管理を促進するとともに、精度の高い3次元地形データを取得して、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握することで、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。</p> <p>また、航空レーザ測量によって把握できる尾根、谷等の詳細な地形や林相界等の情報を森林クラウドにより市町と共有することで、市町による森林の適正な管理の実行につなげます。</p>					
事業の目標	<p>1,200km<sup>2</sup> (12万ha) : 令和5年度 (三重の森林づくり基本計画：次世代型森林情報活用プロジェクト)</p>					
事業概要	<p>航空レーザ計測の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。また、三重県HP等を活用して情報発信を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空レーザ計測（レーザ照射点密度4点/m<sup>2</sup>）約250km<sup>2</sup> (2万5千ha)</li> <li>(三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成)</li> <li>森林資源解析 約500km<sup>2</sup> (5万ha) ※令和元年度先行実施分を含む</li> <li>(林相区分データ作成、単木解析、林分解析（平均胸高直径、平均樹高、平均形状比、立木本数密度、収量比数等）データ作成)</li> <li>成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成</li> </ul>					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
亀山市、鈴鹿市、度会町を新規計測箇所として選定し、約272km <sup>2</sup> (2万7,205ha) の航空レーザ測量及び森林資源解析を実施しています。令和2年10月までに計測作業を完了しており、取得状況に合わせて作業範囲を変更した上で森林資源解析作業を実施しています。また、令和元年度に計測作業のみ先行実施した大台町、尾鷲市、紀北町地内の約282km <sup>2</sup> (2万8,160ha) において後続作業を実施しています。そのため、令和2年度に新たに森林資源解析の実施面積は、554km <sup>2</sup> (5万5,365ha) となる見込みです。

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
効率性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
公益性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
情報発信度	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート④－ア

担当部課名		農林水産部森林・林業経営課		
作成年月日	当初	令和2年8月1日		
	中間	令和2年12月31日		
	実績	令和年月日		

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	森を育む人づくり推進事業				
細事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業				
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分	3. 森を育む人づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額(円)	31,057,000	34,233,000		
	決算額(円)	30,479,592			
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、森林環境教育や木育、森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、みえ森と緑の県民税等により地域や学校等で行われる当該取組を支援します。				
事業の目標	地域に密着した森林環境教育・木育指導者数を200人育成します。（令和5年度末までの5ヵ年） このために、県内各地において地域で活躍する指導者の養成を行うほか、小中学校等において森林環境教育・木育の出前授業を実施します。また、指導者の活躍の場として、県内各地で木工教室や自然観察などを実施し、幅広く県民が木や森林にふれ学ぶ機会を創出します。				
事業概要	みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により学校や地域で実施される森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、指導者育成を行うほか、広域的・総合的なサポートを行います。  1 みえ森づくりサポートセンター 森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林環境教育指導者や森づくり技術者の育成を行うほか、きめ細かい各種対応など、広域的・総合的なサポートを行います。 2 森林環境教育・木育体制整備 森林環境教育・木育の教材を提供するとともに、みえ子ども森の学びサミットを開催します。				

【中間進捗】

中間進捗状況
1 みえ森づくりサポートセンター みえ森づくりサポートセンターを運営し、森林教育や森づくり活動に関する相談対応や活動のコーディネート等を行いました。森林教育の指導者養成に関する講座・研修を計9回実施したほか、森のせんせいの活動の場となる森の学校を17回、出前授業を12回実施しました。また、森林や木に触れる機会の創出のため、第7回みえの森フォトコンテストやこども森の写真教室、ミエトイ・キャラバンを開催しました。
2 森林環境教育・木育体制整備 社会科に対応した副読本「三重の森林とわたしたちのくらし」を県内小学5年生全員に配布しました。
みえ子ども森の学びサミットは新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止としました。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量（実施回数）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
効率性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
公益性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
情報発信度	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業

事業別評価シート④－イ

担当部課名 作成年月日	農林水産部森林・林業経営課				
	当初	令和2年8月1日			
	中間	令和2年12月31日			

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	森林環境教育・木育拠点整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額（円）	15,313,000	48,334,000			
	決算額（円）	7,620,083				
事業の目的	森林環境教育・木育を推進するため、森林環境教育の活動フィールドの整備や、県有施設等を改修し木製遊具の常設を行うなど、多くの県民がいつでも森林環境教育・木育を体験できる場づくりを行います。					
事業の目標	県内各地域において拠点となる、森林環境教育の活動フィールド、木育体験施設の整備。					
事業概要	県内の既存施設に森林環境教育実践フィールドや常設型の木育体験施設を新たに整備します。また、これら施設を森林環境教育・木育指導者の活躍の場として活用するなど、ソフト面でも充実を図ります。					

【中間進捗】

中間進捗状況
令和元年度に引き続き、三重県民の森自然学習展示館の木育拠点施設の改修工事を進めています。令和2年度は改修工事の一般競争入札を実施し、8月より建築施工に着手しています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	令和2年8月1日	
	中間	令和2年12月31日	
	実績	令和年月日	

## 【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	森林とふれあう自然公園環境整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額（円）	15,350,000	13,256,000			
	決算額（円）	7,726,270				
事業の目的	県民が森林や緑と親しむ機会を創生するため、地域のNPOや団体、市町等と連携して、身近な自然公園の園地や歩道等を活用した森林環境教育イベントやガイドツアー等の取組みを推進するとともに、活動のフィールドとなる園地や歩道等の施設の安全確認や改修などを行う。					
事業の目標	地域との連携による自然公園施設等を活用した森林環境教育の活動					
事業概要	地域のNPOや団体、市町等が連携し自然公園の園地や自然歩道等を活用して実施する森林環境教育イベントやガイドツアー等により森林環境教育を行う。 また、そのフィールドとなる自然公園の園地や自然歩道等において、活用されている施設の安全確認を行い、安全・安心に利用できるようにサイン標識や説明看板の設置、歩道の階段や転落防止柵等の改修などをを行う。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
・大杉谷登山歩道において、ボランティアによる安全登山のための施設整備や自然保護活動（2回）及び森林教育（2回）を実施 ・県内にある近畿自然歩道や園地及び三重県民の森などの自然公園施設で、森林教育を実施（6回）及び予定（3回）

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量（実施回数）		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
効率性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
公益性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
情報発信度	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。
-------	--------------

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑤

担当部課名 作成年月日	農林水産部みどり共生推進課				
	当初	令和2年8月1日			
	中間	令和2年12月31日			

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	生物多様性推進事業					
細事業名	-					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	4,024,000	3,996,000			
	決算額(円)	3,078,134				
事業の目的	県民全体で森林を支える社会づくりを進めるため、自然環境保全活動に取り組む団体を増やし、また、県民・事業者・行政などの様々な主体による自然環境保全活動や生物多様性の重要性に関する普及啓発に取り組むなど、生態系ネットワークの形成を促進し、森林生態系などの生物多様性の保全を図り、地域の身近な水や緑の環境づくりを進めます。					
事業の目標	自然環境保全活動団体の活動促進及び自然環境保全上重要な地域の明確化					
事業概要	自然環境保全活動団体の活動状況を調査するとともに、団体の活動に対して、必要に応じて、アドバイザーの派遣等を行い、持続的な活動を促進します。 また、開発と自然環境との調和を図るため、自然環境保全上重要な地域について明確化するとともに、生物多様性推進施策に必要な情報を収集し、広く県民や事業者等へ情報提供します。					

【中間進捗】

中間進捗状況	
生物多様性の保全を推進するため、生物多様性保全活動団体の状況調査、保全すべき希少野生動植物種等の生息地の明確化及び生息状況調査、生物多様性普及啓発パンフレットの作成等を行っています。	

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の観点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。
-------	---------------

担当部課名	農林水産部森林・林業経営課				
	作成年月日	当初	令和2年8月1日		
		中間	令和2年12月31日		
	実績	令和年月日			

## 【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規	継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	3,449,000	3,570,000			
	決算額(円)	2,615,826				
事業の目的	子どもたちの健全な心身の育成と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るために、野外体験指導者等と連携して令和元年度に作成した新たなプログラムに基づく自然環境キャンプを実施する。					
事業の目標	子どもたちが主体的に学ぶための新たなプログラムにもとづく自然環境キャンプのモニター実施					
事業概要	<p>令和元年度において、県内にある自然体験の施設や指導者等と連携し、森林をフィールドとして子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶ新たなプログラムの作成および試行実施を行った。</p> <p>令和2年度はこのプログラムを使った自然環境キャンプをモニター実施するとともに、検証を行うための協議会の設置・運営を行う。</p>					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	自然環境キャンプのモニター実施6回のうち2回を実施するとともに、1月以降に実施する3回目以降の開催を広報しました。 また、自然環境キャンプの取組に賛同する野外体験事業者や森林教育活動実施者等で構成する協議会を設置し、協議会を2回開催しました。
--------	--

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量(実施回数・日数)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。
-------	--------------

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑦－ア

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日	実績
	年	月	年	月	日

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)事業				
細事業名	流域防災機能強化対策事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額(円)	139,505,000	125,799,000		
	決算額(円)	134,218,600			
事業の目的	流域の防災機能を強化する面的な森林整備や獣害対策などの課題に県と市町が連携して取り組むため、「みえ森と緑の県民税」(連携枠)を市町に交付します。				
事業の目標	山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壤浸食のおそれのある渓流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。 事業実施箇所：14市町 456.43ha				
事業概要	人家等の保全対象から概ね2km以内の渓流沿いの森林であって、適正な管理がされておらず、流木や土砂の流出により下流に被害を及ぼす恐れがあり、以下のいずれかに該当する森林を対象に、市町が、森林所有者と当該森林の管理及び施業方法等について定めた協定を締結したうえで、間伐等の森林整備を実施します。  (1) 間伐等（災害緩衝林一体型） みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化することができる森林  (2) 間伐等（環境林・特定水源地域） 県ゾーニングが環境林、または三重県水源地域の保全に関する条例に規定する特定水源地域として指定されている森林				

【中間進捗】

中間進捗状況
13市町において、289.95haの実施を見込んでおり、そのうち、176.82haの森林整備に着手済み（うち10.51haが完了）となっています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	実施箇所(市町)	
	整備面積(ha)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

担当部課名 作成年月日	農林水産部みどり共生推進課				
	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日	実績
	年	月	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)事業					
細事業名	森林再生力強化対策事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	30,683,000	35,800,000			
	決算額(円)	24,207,508				
事業の目的	流域の防災機能を強化する面的な森林整備や獣害対策などの課題に県と市町が連携して取り組むため、「みえ森と緑の県民税」(連携枠)を市町に交付します。					
事業の目標	森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図ります。 事業実施箇所：7市町 42,588m（獣害防止施設整備） 1市 1箇所（ニホンジカの捕獲等）					
事業概要	<p>(1)獣害防止施設等整備 森林所有者等が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内で、健全な森林の造成・保全を目的として行う野生獣による森林被害の防止、野生獣の移動の制御等を図るための獣害防止施設等の整備に対して市町が支援します。</p> <p>(ア)植栽タイプ 伐採跡地等において、植栽とあわせて行う獣害防止施設等の整備</p> <p>(イ)天然更新・更新補助タイプ (ア)の事業区域と隣接し、林業経営に適さないことから天然更新等を図る伐採跡地等において行う獣害防止施設等の整備</p> <p>(ウ)獣害防止施設等補修 豪雨等で破損した既設の獣害防止施設等の補修</p> <p>(2)ニホンジカの捕獲等 市町が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、ニホンジカの生息密度を適正な範囲に誘導していくため、獣害防止施設等の整備箇所周辺で、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施し、効果検証に取り組みます。</p>					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
・獣害防止施設等整備については、7市町において24,211mの実施を見込んでおり、そのうち13,093mの整備に対する支援が完了しています。
・ニホンジカの捕獲等については、未着手となっています。

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	実施箇所数 (m、箇所)	

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑧

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課			
作成年月日	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日
	実績	令和年月日		

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和2年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業				
細事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額（円）	一	10,000,000		
	決算額（円）	一			
事業の目的	台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組む市町に対して、「みえ森と緑の県民税」（防災枠）を交付します。				
事業の目標	市町とライフライン事業者及び県が連携して、倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組みます。 事業量（伐採本数）：4,700本				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容 台風等の倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採に、電力会社等と連携して取り組む市町に対して支援します。</li> <li>・負担割合 ライフライン事業者1/2、市町1/4、県1/4</li> <li>・事業の対象 (1) 伐採調査：事業の対象となる箇所において、伐採施工前に実施する、施工範囲などの現地調査や、伐採対象木の所有者の確定及び承諾交渉。また、図面及び設計根拠資料の作成等。 (2) 伐採施工：事業の対象となる箇所における、配電線などのライフラインを寸断する恐れのある樹木や枝葉の伐採や集積等。</li> </ul>				

【中間進捗】

中間進捗状況
6市町において、事業実施見込み。このうち、5市町でライフライン事業者、県、市町の三者協定を締結し、事業実施中です。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量	実施個所数	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
効率性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
公益性	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する
情報発信度	* 実施報告後に記入する。	* 実施報告後に記入する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

## 令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業

## 事業別評価シート⑨

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課			
作成年月日	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日
	実績	令和2年8月1日		

## 【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業					
細事業名	一					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり、2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5つの対策全て					
予算額等	年度 予算額（円） 決算額（円）	令和元年度 381,000,000 379,798,000	令和2年度 356,151,000	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の目的	森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくり等の施策を展開します。					
事業の目標	一					
事業概要	1市町当たり500万円の均等配分に加えて、森林面積や人口を算定基礎として算定する「基本枠交付金」と、平成30年2月刊行森林・林業統計書に記載されている森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの事業計画申請に基づいて「加算枠交付金」を交付します。加算枠交付金の5年間の累計申請上限額は、1,000万円とします。 交付の対象とする事業は、事業実施の3原則を満たしたうえで、2つの基本方針及び5つの対策に沿った事業としますが、森林環境譲与税と同一の事業には充当できません。また、次の見直しまでの期間に市町交付金事業の財源に充てるための基金の積立も交付の対象とします。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
29市町133事業（内、12事業が完了、88事業が実施中、20事業が未着手、13事業が基金積立事業）
対策区分1：4町、4事業（内、完了0事業、実施中2事業、未着手2事業）
対策区分2：23市町、41事業（内、完了5事業、実施中31事業、未着手5事業）
対策区分3：18市町、30事業（内、完了3事業、実施中18事業、未着手9事業）
対策区分4：14市町、28事業（内、完了0事業、実施中25事業、未着手3事業）
対策区分5：14市町、17事業（内、完了4事業、実施中12事業、未着手1事業）

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）	実績	備考

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
効率性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
公益性	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する
情報発信度	*実施報告後に記入する。	*実施報告後に記入する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。
-------	--------------

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑩

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和2年8月1日	中間	令和2年12月31日	実績
		年	月	日	

【事業概要】

事業実施年度	令和2年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税制度運営事業					
細事業名	—					
基本方針区分	—					
対策区分	—					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額（円）	19,362,000	10,000,000			
	決算額（円）	9,572,081				
事業の目的	「みえ森と緑の県民税」の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知、みえ森と緑の県民税評価委員会の運営等を行います。					
事業の目標	みえ森と緑の県民税評価委員会の円滑な運営			令和元年度評価委員会開催回数：3回以上		
事業概要	みえ森と緑の県民税評価委員会の運営ほか みえ森と緑の県民税を活用した事業結果等について調査審議する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営するほか、リーフレットなどの啓発物等を作成します。					

【中間進捗】

中間進捗状況	
・税の必要性と使途を広報するため、啓発ポスターを作成して市町や県等の施設に掲示したり、ラジオ等を媒体に広く県民への周知を図りました。	
・令和元年度事業成果報告会を開催し、当該税を活用した事業の成果を市町担当者と共有しました。	
・「みえ森と緑の県民税評価委員会」を開催し、同委員会から令和元年度基金事業の実施後の評価について、三重県知事あて答申をいただきました。	

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量（実施回数）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に記入する。	
効率性	*実施報告後に記入する。	
公益性	*実施報告後に記入する。	
情報発信度	*実施報告後に記入する。	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言